

桜工

No.83
2001

Alumni Bulletin

College
of
Science & Technology
Nihon University

目次

巻頭言	
理工学部の近況について「学部長 小嶋 勝衛」	2
特集	
IT社会に期待するもの	
玉置 廣 / 宮田 章 / 大坂 雅昭 / 松田 樹一	4
上條 治夫 / 佐藤 俊通 / 鮫島 隆展	5
秋元 英治 / 篠澤 達也	6
佐藤 秀人 / 石井 賢一	7
山本 和彦	8
話題キーワード	8
地盤災害—砂地盤の液化化— 「下辺 悟」	
インフレタブル 「宮崎 康行」	
50周年記念事業	
“母校に貴君の名を！”	9
一般記事	
入試・就職について	10
連載企画	
学科紹介	12
精密機械工学科・物質応用化学科・交通土木工学科・物理学科	
ニュース	
理工学部創設80周年記念式典 「次長 高田 邦道」	13
「さようなら “駿河台1号館”」開催さる「次長 肥後 尚志」	14
新1号館の建築について 「高宮 真介」	14
新1号館の建築概要	
学術講演会／表彰者一覧	15
部会だより	
土木・建築・機械	16
電気・工化	17
交通・精密・物理	18
数学・海建	19
航空・電子	20
地方・職域支部活動報告	21
クラス会だより	23
事務局だより	
事務報告・収支報告	24
平成12年度第十二回「桜工賞」受賞者	26
平成12年度卒業生正会員終身会費納入者名簿	26
平成11年度卒業生正会員終身会費納入者名簿	27

編集後記

—21世紀のスタートに当たって—

2000年は理工学部が創立80周年の節目を迎えました。そして、2001年、インターネットがすさまじい勢いで浸透し、更に進化する情報社会としての21世紀へ新たなスタートを切りました。

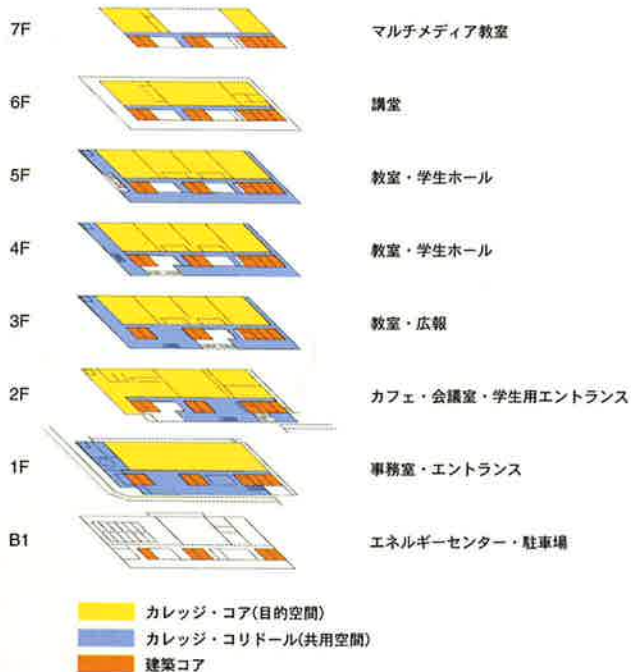
この21世紀の幕開けの時を同じくして、理工学部1号館が開かれた大学としてのコンセプトによる21世紀の新しいシンボルとして生まれ変わるべく着工しました。そこで、その新1号館を会員の皆さんに知っていただけるよう新1号館のバースを掲載しました。

小嶋理工学部長より寄稿いただいた巻頭言は、新しい時代へ向けての日本大学の教育理念、そして理工学部の教育研究の目標、そしてこれを実施していく基本計画と大変興味深いものでした。

特集：「IT」社会に期待すること」ではあらゆる分野での情報技術への大いなる期待を感じると共に、それを活用するのは人間であり広い意味での教育に対する重要性が有る等示唆に富んだ内容をいただくことが出来ました。

連載企画の「学科紹介」は新しい時代への教育現場の現況と展望を教室主任の先生に執筆頂きました。実現へ向けての活躍の一端を知ることが出来ました。

会誌委員 角 耀



▲新1号館 階構成



▲お茶ノ水仲通りから見た新1号館 竣工予定：平成14年12月

平成13年度通常総会開催予定です。

日時：平成13年6月22日(金)18時00分より
会場：東京ガーデンパレス

- 住所変更・表示変更・勤務先・TEL番号等は事務局までご連絡下さい。
- クラス会等に「桜工」をお送りします。(実費・送料が必要となります。)
- クラス会開催の際は卒年・学科・開催日時・場所・参加人数等をご連絡下さい。

※詳細・問い合わせ等は下記工科校友会事務局までご連絡下さい。

〒101-8303 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
日本大学理工学部内 9号館11階 工科校友会事務局
TEL：03-3259-0650
FAX：03-3293-1370 (江口・田中)

会誌委員

◎委員長 ○副委員長

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ◎平川 國一 (建築) | ○片寄 富弥 (電気) | ○香取 照臣 (電子) |
| 田村 順平 (土木) | 金澤 正 (土木) | 石山 元雄 (建築) |
| 西村 亘 (機械) | 島海 清治 (機械) | 角 耀 (電気) |
| 栃木 勝己 (工化) | 永島 一男 (工化) | 服部 保 (物理) |
| 深田 大介 (数学) | 柳瀬 精一 (精密) | 山本 忠幸 (交通) |
| 岡田 智秀 (海建) | 木村 元昭 (航空) | |

平成13年3月25日発行

発行所 **日本大学工科校友会**

編集・発行者 平川 國一
〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
電話 03-3259-0650
FAX 03-3293-1370

印刷所 オフィス・メディア株式会社